



歯から
元気!

カムカム

訪問歯科診療ニュース

「カムカム通信」は訪問歯科診療の普及をめざし、SOSデンティストより発行しています。

噛む噛む 通信

2019.9
Vol.

162

SOS DENTIST

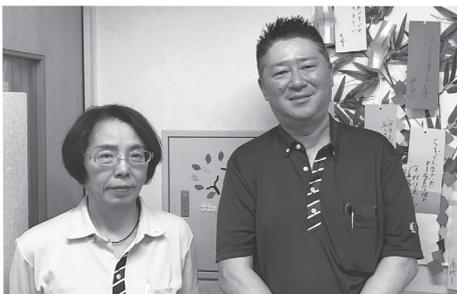
発行 / SOSデンティスト
日本訪問歯科協会
〒101-0037
東京都千代田区神田西福田町4
ユニゾ神田西福田町ビル8階
TEL: 03 (5297) 5073
FAX: 03 (5294) 1150

通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで… ☎ 0120-099-505

かむかむ COME COME 倶楽部

「かわさきグループホームそよ風（神奈川県）では、口腔ケアの質を上げるために、信頼できる歯科医院としっかりと連携して、『お口の健康相談会』や口腔衛生管理体制加算などに取り組んでいます。

口腔ケアの質を上げるために 必要なことに取り組む



かわさきグループホームそよ風
センター長 重松克之さん

当 ホームでは、高松歯科医院との連携で、昨年からの「お口の健康相談会」や訪問歯科診療、口腔衛生管理体制加算の算定を行っています。

「お口の健康相談会」はご家族の方からとても喜ばれました。当ホームでは半年に一度、利用者様とご家族が集まる「ご家族会」を開催しているのです

が、その席でも「こういうことまでやっていただけなのです」と感謝の言葉をいただきました。

相談会の後、訪問診療を受けた利用者様もいて、以前は入れ歯が合わなくて咀嚼に苦労しているようでしたが、少しずつ改善に向かっていきます。

職員の意識が大きく変化

高松歯科医院と連携を取るようになった一番大きく変化したのは職員の意識です。口腔衛生管理体制加算を取っているのでも、毎月、口腔ケアに関する計画書を作成していますが、先生から「こういうところに目を配ってください」などいいねいでの確かなアドバイスをいただきます。

口腔ケアに関してわかっていくつもりでも、指摘を受けて気づくこと、初めて知ることなどいろいろあります。多岐にわたって具体的かつわかりや

すい指示をいただけるので、改めて勉強になりとても助かっています。

口腔衛生管理体制加算によって計画書の作成などの業務は若干増えましたが、口腔ケアの質を上げるために必要なことが改めて始まったという感覚なので、負担に感じることがほとんどありません。

歯科医院とのよりよい 連携体制ができて満足です！

「お口の健康相談会」は、職員が利用者様のお口の健康状態を把握するきっかけになりましたし、ご家族からも大変喜ばれているので、これからも年1回くらいのペースで続けていきたいと思っています。

高松歯科医院には本当に誠実に対応していただいているので、高松先生の温かいハートも感じられるので、このまま引き続きいろいろとお願ひしたいと思っています。現在の連携についての感想は「満足です」の一言に尽きます。

強いて要望をあげるとすれば、グループホームでは経口摂取ができなくなると対応が難しくなっていますので、嚥下反射についてぜひご指導いただき、今後ともお力添えいただけると心強いです。

今日から始める、簡単お口のケア！

アドバイス

誤嚥のタイプの分類

飲食物や唾液は、通常は口から咽頭を通り胃へ送り込まれます。けれども、何らかの原因で誤って喉頭から気管に入ってしまったことを「誤嚥」と言います。誤嚥は高齢者の生死にかかわる誤嚥性肺炎などを引き起こすこともあるために、常に注意が必要です。

誤嚥は大きく4つのタイプに分類できます。

1. 機会誤嚥

通常の食事を行っていて、ときどき飲食物を誤嚥してしまう。

2. 水分誤嚥

飲み物を飲むときに頻りに誤嚥してしまう。

3. 食物誤嚥

飲食物を飲み込むときに頻りに誤嚥してしまうが、呼吸状態は安定している。

4. 唾液誤嚥

唾液を含むすべてのものを誤嚥し、呼吸状態も良くない。

1→4の順に重症度は高まり、肺炎のリスクが大きくなります。

機会誤嚥と水分誤嚥は、嚥下訓練を行ったり、飲食物に少しとろみを付けるなどの工夫をすることで対処します。何を飲み込んででも誤嚥してしまう食物誤嚥や唾液誤嚥の場合は、速やかに医療機関を受診してください。